

12月5日（金）6年 防煙教室

12月5日（金）に、防煙教室が行われ、タバコが私たちの体や、周りの人にどんな影響を与えるのかを学習しました。

タバコを吸うと、体が大きくなるのが遅くなったり、勉強やスポーツで力を発揮しにくくなったりすることがわかりました。また、将来、病気になりやすくなることや吸い始めると、タバコがやめられなくなる「依存症」になりやすいことも学びました。さらに、タバコから出る煙（副流煙）は、吸っていない家族や周囲の人にも悪い影響を与えてしまいます。特に、小さな赤ちゃんや妊娠しているお母さんにとっては、とても危険なものだということを確認しました。

子どもたちからは、「タバコは吸う人だけの問題じゃない。」「大切な人のために、タバコの煙から守りたい。」といった、感想がたくさん聞かれました。

自分も周りの人も、みんなが元気でいられるように。今回の学びをいかして、これからも健康を大切にしたいと思います。

